

# 令和7年度 中学生の「税についての作品」入賞者

敦賀納税貯蓄組合連合会では、税についての理解と関心を深めていただくため、敦賀税務署管内の中学生を対象に「税についての作品」を募集しました。本年度は、作文と書道合わせて647点の応募があり、審査の結果、次の方が入賞されました。多数のご応募ありがとうございました。

## 作文の部

### 《金沢国税局長賞》

#### 「税金の行方」

敦賀市立松陵中学校3年 谷出 怜侍

この夏、参議院選挙が行われた。連日のように各政党が国政に対する思いや公約などを発表し、テレビやSNSでも大きな話題となっていた。現在、物価が高騰し、様々な商品が値上がりし続けているため、賃上げや消費税減税を訴える政党が複数あった。給付金の支給についても検討されていた。だが、国民の税金負担率も上がり続けているようだ。ニュースでそれを聞いたとき、現在、どれくらいの国民が生活に満足しているのだろうかと思った。私にはまだ投票権はないが、このような状況にある日本が、この先どうなるのか、果たして、私たち国民の生活は更に豊かになるのだろうか。そういう思いが巡り、夏休みは税金について深く考える機会となった。

未成年の私でも税金を身近に感じることもある。例えば、学校や図書館などの公共施設は税金で建てられているし、温泉旅行に行ったときは、入湯税というものがあった。

買い物をするときには、その都度、消費税を支払っている。だが、多くの税金の行方については詳しく知らない。意識して考えることもあまりなかった。だが、今年、気づいたことがある。病院での支払いがなくなったのだ。今までは、どの病院でも支払っていたので不思議に思って調べたと

ころ、敦賀市では、今年度から子ども医療費が無償化されたことが分かった。その他にも、本年度予算は、学校で使用しているタブレット端末の更新や、給食の物価高騰支援にも充てられることが分かった。学生への支援以外にも、公共施設の整備や市民の健康づくりについての取り組みなども進められているようだ。税金の使い道は自治体によって違うが、やはり、私たちは誰もが税金に助けられながら生活しているのだ。

税金の使い道を決める人たちは、そのときの景気や国民のニーズを幅広く理解して、どのような立場の人も豊かな生活を送ることができるように努めなければならないと改めて感じた。重大な責任を持って仕事をする政治家を決めるための選挙に、投票に行くよう宣伝する広告には、誰もが税金について、より真剣に考えるべきだというメッセージが込められているのではないかと感じた。

私も数年後に投票権を得ることになる。それまでもっと社会の情勢を勉強し、日本の未来を担う次世代の一員として、国民が納めた大切な税金の行方を決める責任感を養いたいと思う。そのために、普段から税金に興味を持ち、税の仕組みに理解を深めながら生活していきたい。

- 金沢国税局長賞  
谷出 怜侍 (松陵中3年)
- 敦賀市長賞  
久永 知采 (敦賀気比付属中3年)
- 敦賀青色申告会長賞  
生水 優一 (敦賀気比付属中3年)
- 北陸納税貯蓄組合総連合会長賞  
山本 さくら (松陵中1年)
- 若狭町長賞  
北川 理子 (上中中2年)
- 藤野 雅史 (気比中2年)
- 福井県知事賞  
荻野 暖大 (敦賀気比付属中3年)
- 美浜町長賞  
宇都宮 加帆 (美浜中3年)
- 公益社団法人 敦賀法人会長賞  
橘 蓮央 (気比中2年)
- 福井県納税貯蓄組合総連合会長賞  
佐本 蓮 (松陵中3年)
- 敦賀納税貯蓄組合連合会長賞  
河瀬 夢大 (松陵中2年)
- 浅妻 里奈 (美浜中3年)
- 敦賀税務署長賞  
朝倉 笑里 (敦賀気比付属中3年)
- 保谷 明希 (栗野中3年)
- 敦賀間税会長賞  
栗名 陽斗 (角鹿中2年)
- 樋村 依里 (上中中3年)
- 山中 暖士 (東浦中1年)

## 書道の部

- 北陸納税貯蓄組合総連合会長賞  
西口 彩峰 (気比中3年)
- 福井県納税貯蓄組合総連合会長賞  
山田 果凜 (栗野中1年)
- 敦賀税務署長賞  
野尻 美月 (気比中3年)
- 敦賀納税貯蓄組合連合会長賞  
前西 うた (栗野中1年)
- 敦賀納税貯蓄組合連合会長賞  
竹仲 柚結 (気比中1年)

